

40369

教科書文庫

4
760
31-1903
01304 49487

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

C Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak

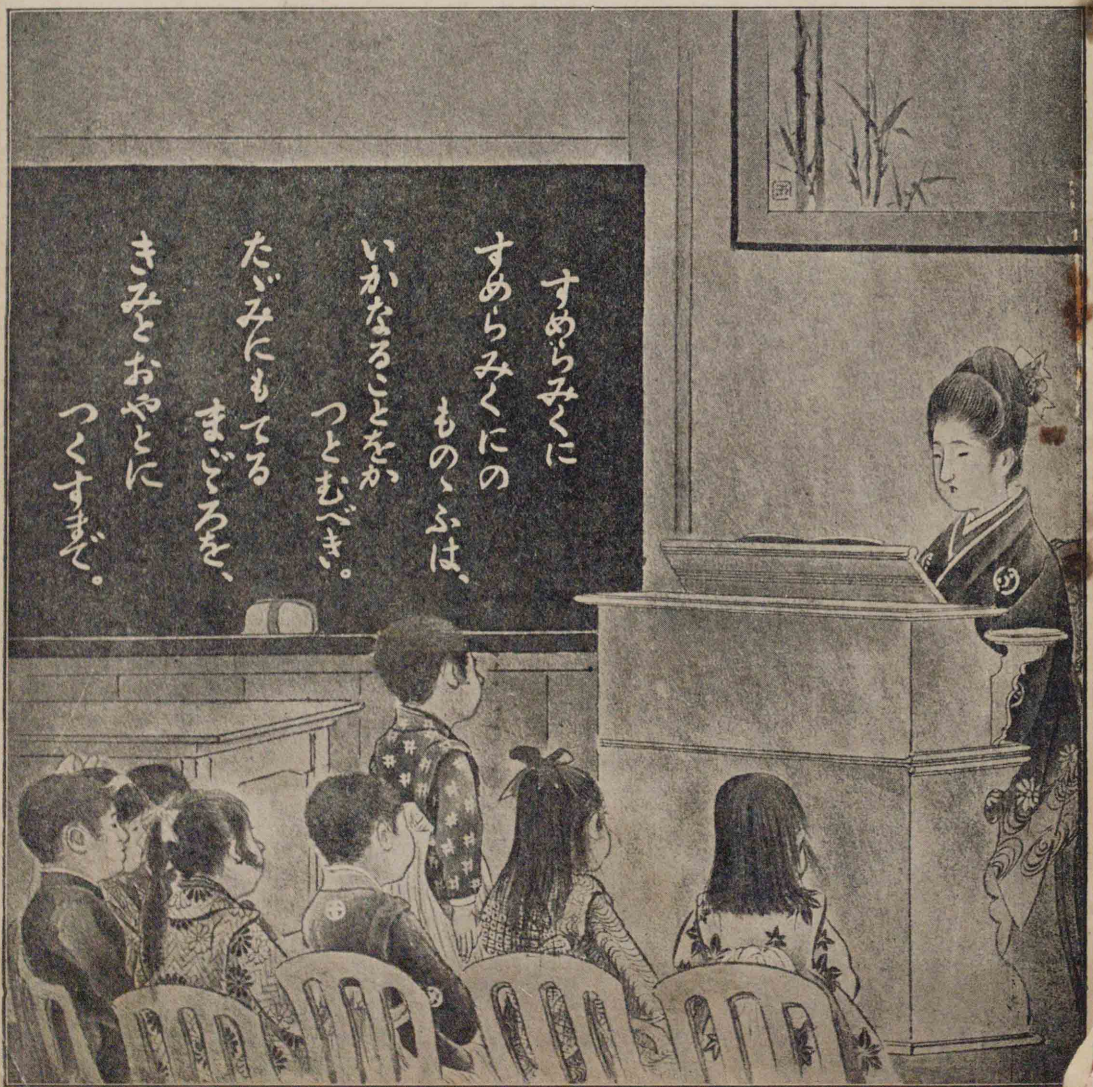


文部省検定済  
教科用適



# 幼奉唱歌

二編下卷



中央図書館

訂正四版

納所辨次郎  
田村虎藏

共編

教科  
適中  
少年  
唱歌

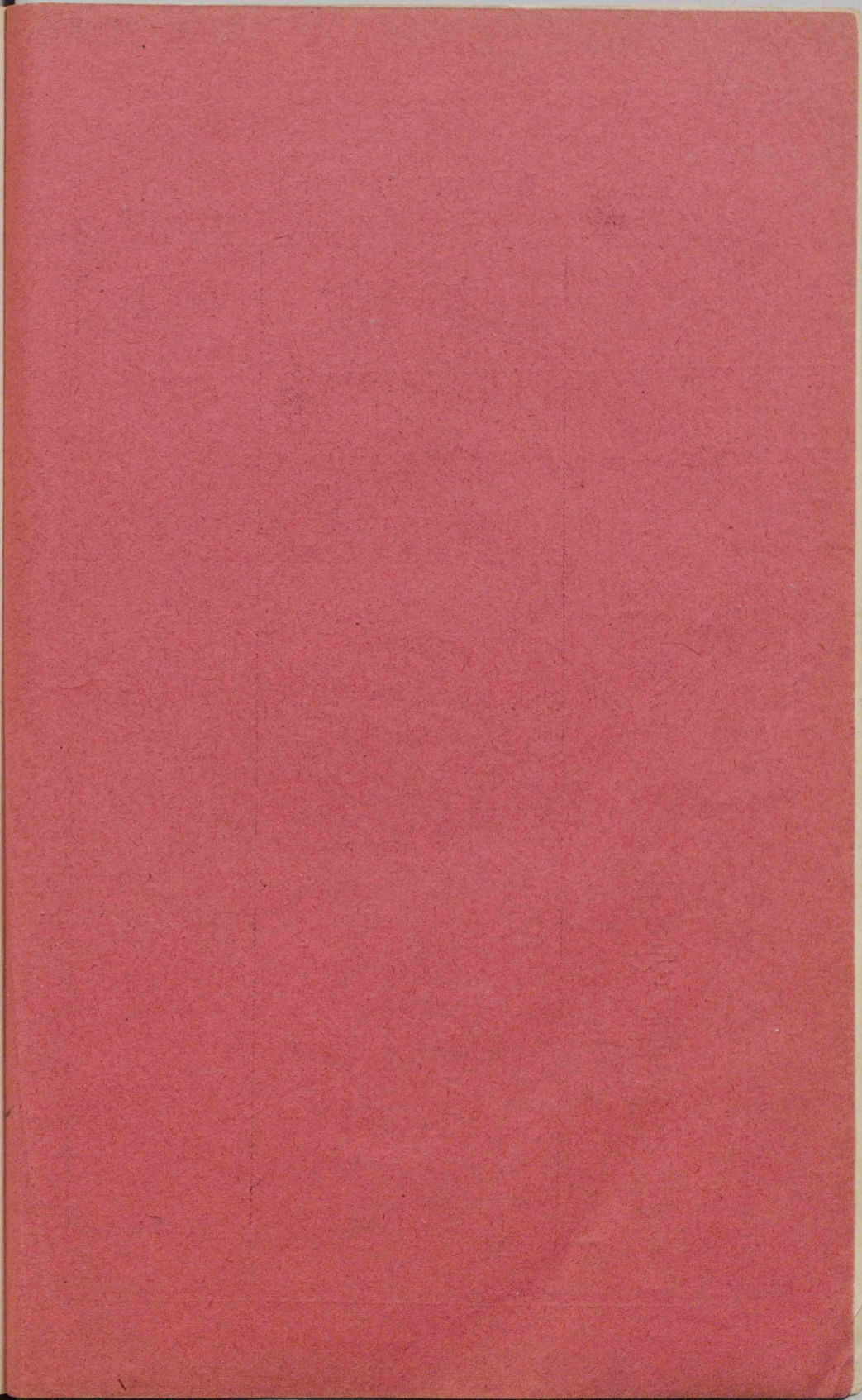
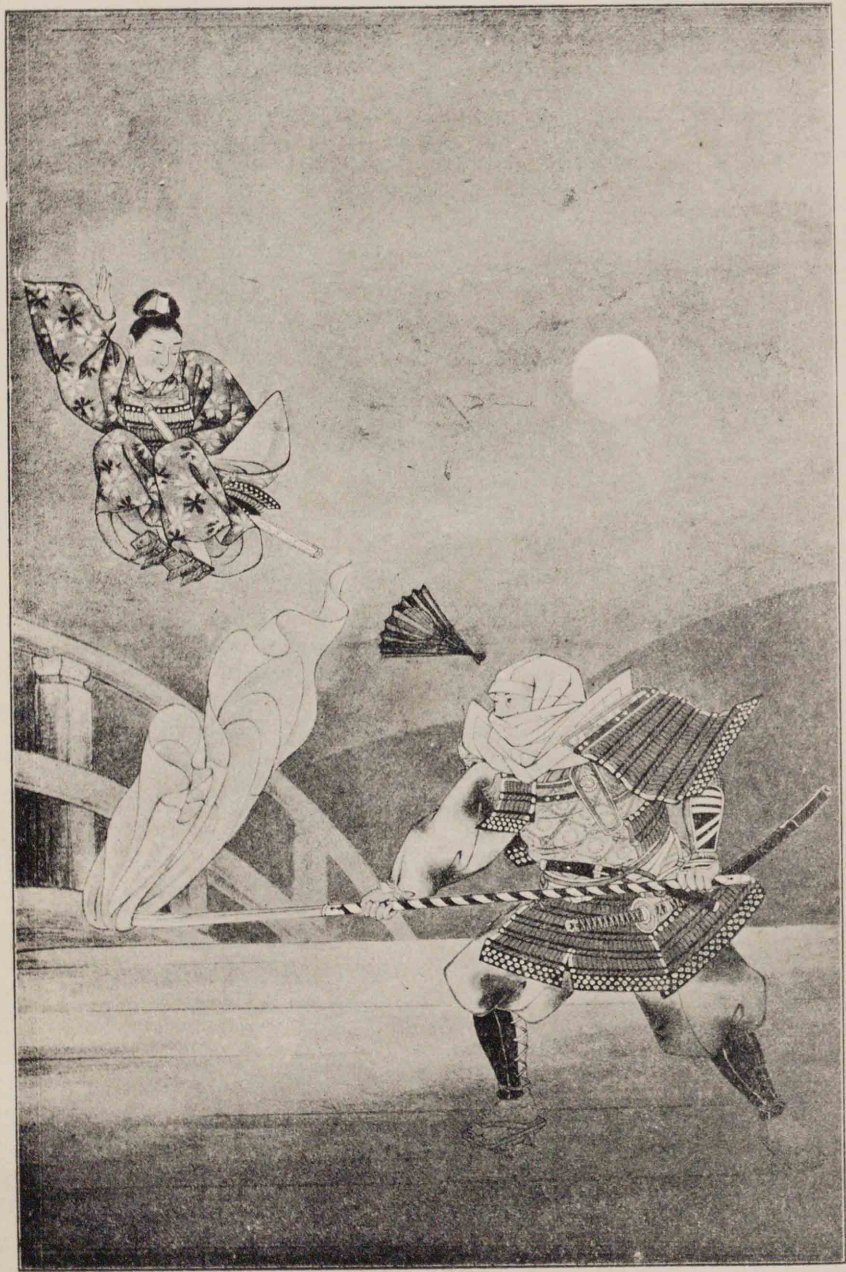
下貳  
卷編

東京 銀座 十字屋發行

広島大学図書

0130449487





### 緒言

本書は、現今小學校の唱歌教授に於ける一般の弊習を救済し、教育的教授に適切なる教材を供給せんが爲に編纂せるものなり。而して其教材は、尋常第一學年より高等第四學年に至る迄、各學年各學期に配當したれば、順次編を逐ひて教科用に充て得べきものとす。編纂の要旨、下の如し。

一、題目、尋常科には、専ら修身、讀書科に關係を有する事項、及び四季の風物に因みて之を取り、高等科には、更に地理、歴史、理科等の教科に關係を有する事項を加へ、以て各教科の統一を完からしめんことに力めたり。

一、歌詞、多年小學教育に經驗を有する識者の手に成りて、兒

童の心情に訴へ、程度を察し、平易にして理解し易く、而も詩的興味を失はざるものより、漸く進みては、古今名家の作に及ぼし、以て國民感情の養成に資せんとせり。

一、曲節 多年編者研究の結果に出で、能く其音程、音域の如何を審査し、兒童が心身發達の程度を精察し、初は快活にして流暢なるものより、漸く優雅にして諄美なるものに進め、以て審美的感情を育成せんことを期せり。

以上の外、詳細の用意、及び音楽上併に教授上の注意に至りては、每卷これを記述せり。

明治三十四年十一月三日

編者識す

### 教科幼年唱歌 貳編下卷

#### 凡例

一、本編は、尋常小學第二學年第三學期間に、教授すべき材料を配當せるものなり。而して歌曲の數八個は、毎週二時間宛教授するものとしての最多限なり。故に教授時間の事情により、これが取捨撰擇は教師の任意たるべし。

一、本編の歌詞は、一般兒童にもよく了解せしめんが爲め、此學年讀書科の程度に鑑みて之を記載し、出來得べき丈け大字を用ひたり。曲節は凡て兒童の唱歌し得べき音域内に記譜したるが故に、記譜の各調子にて直ちに教授するを得べし。

一、本編歌曲の強弱は、片假名の略號及び他の諸記號にて之を表はせり。即ち「*f*」は強く、「*mf*」はこれより稍や強く、「*p*」は弱く、「*ff*」又は「*f*」は強く、「*mp*」は中等に、「*mf*」はこれより稍や強く、「*f*」又は「*ff*」は次第に強く、「*pp*」又は「*p*」は次第に弱く、其數部分を諡ふべきことなり。強弱は、唱歌上最も大切なれば、注意せん事を要す。

教授上一般の注意

- 一、此學期にも、先づ氣息呼吸法を行ふべし。其方法は初編下卷に同じ。是れ唱歌するに先ちて肺臓の運動を自在ならしむるものなれば、室内の空氣清淨なる日には、必ず之を行はん事を要す。呼吸法は、外國に於て専ら之を行ふものなるが、予は多年實驗に徴して、其効果の尠少なからざるを認めたるものなり。
- 二、次に發音の練習に移る。其方法第一學年に準じ、専ら五個の母音を種々に配合し、之を長音階の各階段に附して練習するなり。但し此際「7」及び「4」の二音は、之を省くも可とす。音聲の使用方法及び、口授法によりて教授する順序方法は、初編中卷に同じ。而して呼吸法及び發音練習の二個練習は、教授時間の四分の一を超過せざる様注意すべし。
- 三、此他時々口形練習をも交へて、五母音の發聲を正確ならしむべし。且つ兒童唱歌教授上、繪畫を使用せんは、意外の興味を添ふるものなれば、教授者は該編中に挿入したる圖案を參考して、豫め一定の畫面を用意し教授の際常に之を使用せんことを望む。
- 四、兒童の心情は、絶えず活動し且つ快活なり。故に歌曲の速度は概して急速なるを可とす。而して本編收むる所の八曲は、何れも他教科との連絡を保てり。即ち「加藤清正」「牛若丸」は、此學年に適したる修身訓話。「金鷄勳章」は觀察科に、其他は悉く讀書科書材に關係あるものなれば、教授者相當の問答講話をなしたる後、教授せん事を要す。

教科適用 幼年唱歌 二編下卷

目次

羽子	作曲者	田村虎藏	七
金鷄勳章	作曲者	納所辨次郎	九
毬	作曲者	未詳(西洋曲)	十一
加藤清正	作曲者	納所辨次郎	十三
雪投	作曲者	田村虎藏	十五
烏	作曲者	奥好義	十七
笛と太鼓	作曲者	納所辨次郎	十九
牛若丸	作曲者	田村虎藏	廿一

# 羽子

(と調二拍子)

稍 緩 除

田 村 虎 藏 作 曲

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7.

5. 5. 5. | 1. 1. 1. 1. | 3. 2. 1. 2. | 3. 0. |  
 ト イ ミ ヲ ノ ハ ヲ シ メ ハ ヲ ヲ レ シ イ ナ  
 チ イ ヲ ノ ヲ ヲ シ イ ナ

3. 3. 3. | 5. 5. 3. | 4. 3. 2. 3. | 1. 0. |  
 ハ ハ コ チ ツ イ テ ア ソ ホ ー ヨ

5. ー | 3. ー | 1. 6. 1. 2. | 1. 0. |  
 ヒ ヲ ニ フ ニ フ シ ノ ヤ マ マ

3. 3. 3. 3. | 2. 2. 2. 2. | 1. 6. 1. 2. | 3. 0. |  
 フ シ ノ ー オ ヤ マ チ コ ス マ テ モ  
 ツ ク バ ノ ミ ネ モ ー ヒ ク イ マ テ

3. 3. 3. | 5. 5. 3. 3. | 2. 1. 2. 3. | 1. 0. ||  
 タ カ ク ハ ズ メ ヨ ハ ー ゴ ハ ー



## は ごと

作 歌 田 邊 友 三 郎

一、年のはじめは、うれしいな、  
 はごをついて、あそぼうよ。  
 一、二、ふじの山。  
 ふじのお山を、こすまでも、  
 たかくはずめよ、はーごはご。  
 二、松のうちには、たのしいな、  
 はごをついて、あそぼうよ。  
 九、十、つくば山。  
 つくばのみねも、ひくいまで、  
 たかくはずめよ、はーごはご。

は  
ご

# 金 鵞 勳 章

(に調二拍子)

快活  $\equiv$

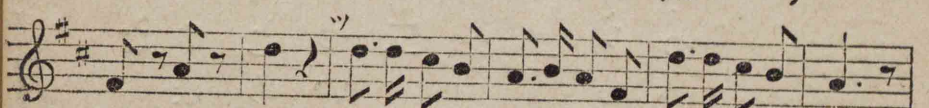
納所辨次郎 作曲



	3.	3	3	5.	5	3	1	2.	1	6.	1	2.	0
1.	△	カ	シ	シ	ン	△	ノ	オ	ン	ミ	カ	ド	
2.	ヨ	ク	ヨ	ミ	レ	バ	ー	キ	ン	イ	ロ	ノ	
3.	イ	マ	マ	メ	イ	コ	ノ	ア	ン	シ	ン	ノ	



	3.	5	6.	5	3.	3	1	2.	3	2.	1	1.	0
	ナ	ガ	ス	ニ	ビ	コ	チ	ウ	タ	レ	ソ	ニ	
	ト	ン	ビ	ヨ	ト	ガ	ヨ	ソ	ノ	ヒ	カ	リ	
	△	ー	ネ	ニ	カ	ガ	ヤ	ク	ク	ン	シ	ー	ノ



	3	0	5	0	i	0	i.	i.	7	6	5.	6	5	3	i.	i	7	6	5.	0
	ビ	カ	ビ	カ	ビ	カ	ア	ヤ	シ	ノ	ヒ	カ	リ	ハ	チ	ン	ノ	ー	ノ	
	ビ	カ	ビ	カ	ビ	カ	ナ	ガ	ス	ネ	ビ	コ	モ	ー	ソ	ノ	グ	ン	モ	
	ビ	カ	ビ	カ	ビ	カ	ア	レ	コ	ツ	キ	ン	シ	ノ	ク	ン	シ	ヨ	ー	ヨ



	5.	5	6	7	i.	i	5	4	3	2.	3	1.	0
	オ	ユ	ミ	ノ	ー	キ	ニ	ト	マ	ツ	タ	リ	
	オ	ソ	レ	テ	サ	キ	ニ	ス	ク	シ	タ	リ	
	ア	レ	コ	ソ	ア	ン	ノ	ク	ン	シ	ヨ	ー	ヨ



きんしくんしよー 作歌 石原和三郎

一、むかし神武のおんみかど、  
長すねびこを、  
うたれしに、

ピカ、ピカ、ピカ、あやしの光は、  
お弓のさきに、  
とまゆたり、  
天皇の、

二、よくく見れば金いろの、  
ピカ、ピカ、ピカ、  
長すねびこも、  
とびよ、その光、  
おそれ足も、  
すくみたり。

三、今や、めいよの軍人の、  
ピカ、ピカ、ピカ、  
あれこそ、きんしの  
くんしよーよ、あれこそ、  
きんしのくんしよーよ。



きんしくんしよー





ま  
り

一、やなぎのこかげの、まりあそびく。  
 木のしたかげに、はずんだときは、  
 くるりとまはって、つばくらめ。  
 二、まりつきあそびは、おもしろやく。  
 しだれたえだに、はずんだときは、  
 これこそ木のまの、お月さま。  
 三、まりつく手ぶりも、しなかへてく。  
 ヒフミヨ、イムナヤ、ココノツトーよ。  
 トーからつゝいて、百までも。

ま

ま  
り

作歌 田邊友三郎

毬

(に調二拍子)

爽快 = 作曲者未詳



1 2 3 4 | 5 5 5 5 | 6 4 i 6 | 5 0

1. ナ ナ ギ ノ コ カ ゲ ノ マ リ ア ソ ビ  
 2. マ リ ツ キ ア ソ レ ハ オ モ シ ロ ナ  
 3. マ リ ツ ク ヲ プ リ ム シ ナ カ ヘ テ



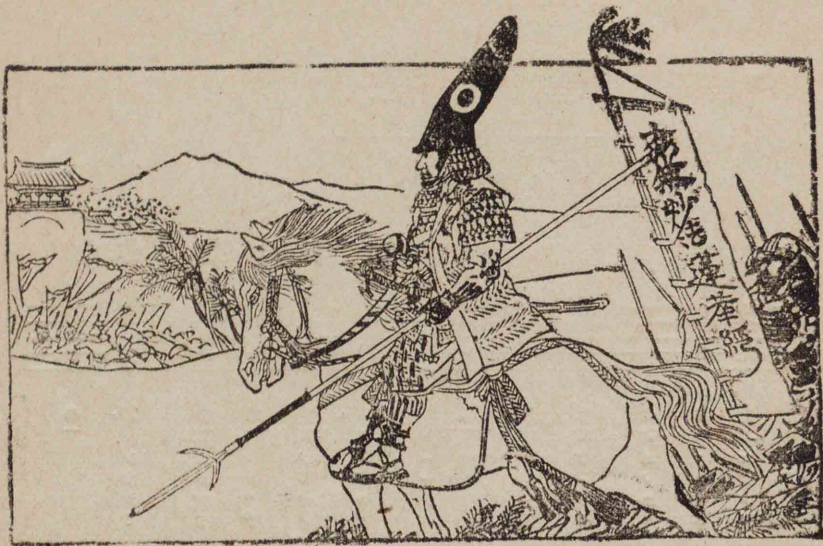
6 4 i 6 | 5 0 | 5 4 4 4 | 4 3 3 3 | 3 2 2 2

マ リ ア ソ ビ コ ノ シ タ カ ゲ ニ ハ ズ ン ダ  
 ガ モ シ ロ ナ シ ダ レ タ ユ ダ ニ ハ ズ ン ダ  
 シ ナ カ ヘ テ ヒ フ ミ ヨ イ ム ナ ヤ コ コ ノ ツ



1 3 5 | 5 4 4 4 | 4 3 3 3 | 3 2 2 3 | 1 0 ||

ト キ ハ ク ル リ ト マ ハ ツ テ ツ バ ク フ メ  
 ト キ ハ コ レ コ ソ コ ノ マ ノ オ ツ キ サ マ  
 トーヨ トーカラ ツツイテ ヒヤクマアモ



加藤清正の肖像

**加藤清正**

作歌 田邊友三郎

一、武勇はならぶ  
 忠義はあつき  
 よばれし加藤  
 太閤秀吉  
 其名も高き  
 七本やりを  
 多くのいくさに  
 いつもてがらを  
 ちよーせんぜめの  
 十字のやりを  
 北のはてまで  
 てきにも鬼と、

二、ものもなく、  
 ますらをと、  
 清正は、  
 一の臣は、  
 しづがたけ、  
 はじめとし、  
 うって出で、  
 あらはせり。  
 をりからは、  
 おつとつて、  
 つきすゝみ、  
 よばれたり。

十三

## 加藤清正

(へ調實はにの短調二拍子)

稍早ク(感情ヲ以テ)

納所辨次郎 作曲

チ.

2/4

6. 6. 6. 6. | 1. 7. 6. | 3. 3. 2. 1. | 7. 0.

1. ア ユー ハ ナ ラ ア モ ノ モ ナ ク

2. ソ ノ ナ モ ☆ カ キ シ ツ ガ タ ケ

3. チョー セン セ メ ノ チ リ カ ラ ハ

チ.

6. 6. 5. 6. | 4. 4. 3. | 1. 1. 7. 7. | 6. 0.

チユー ギ ハ ア ツ キ マ ス ラ ナ ト

ヒ チ ホン ヤ リ チ ハ シ メ ト シ テ

チ.

3. 3. 2. 3. | 4. 4. 3. | 6. 6. 5. 4. | 3. 0.

ヨ バ レ シ カ ト キ ヨ マ サ ハ

オ ホ ク ノ イ ク サ ニ ウ ツ テ イ テ

キ タ ノ ハ テ マ デ ツ キ ス ス ミ

チ.

2. 2. 1. 7. | 6. 6. 7. 7. | 3. 1. 7. 7. | 6. 0.

タ イ コー ヒ デ ヨ シ イ チ ノ シ ャ

イ ー ッ モ テ ガ ラ チ ア ラ ハ セ リ

テ キ ニ モ オ ニ ト ー ヨ バ レ タ リ

十二

B = 三拍

# 雪 投

(と調二拍子)

活潑 = 田村虎藏 作曲



ハ	1	1	1	6	5	5	5	5	1	1	2	3	2	0
1. 2. 3. 4.	キヒテテ	エガニア	ズシデタ	ニノニリ	アダヨシ	レイイダ	トシイイ	ーノニ	タタユカ	ノレキイ	シナツツ	ミルブカ	シカタミ	



3	3	3	2	1	1	6	6	5	1	2	3	1	0
ニニカメ	ハシタツ	シノメタ	ローター	タタモヤ	ハイツタ	ノシヨニ	ーニ	シタナナ	ラレナゲ	ユナツア	キルヤウ	ハカツテ	

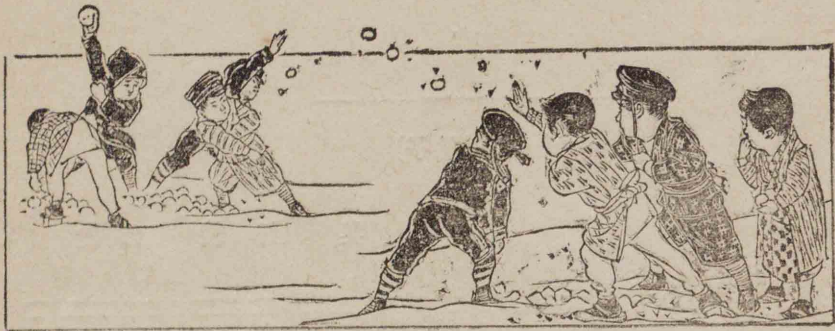


1	3	5	3	5	3	2	0	3	1	6	2	5	0
ヒシウニ	ルンチハ	ノバツニ	ヤンウハ	スカタナ	ミンレチ	モハツル		ケセオユ	サンヒキ	ノセマフ	マイハア	マヨルキ	ー



5	5	1	1	2	2	3	3	5	0	5	0	1	0
イヤドナ	ザクツリ	ユラチカ	キリモヲ	ガキマス	ツマルズ	セタナガ	ン	ヤレシレン	ヤヨソリ	ヤレシレン	ヤヨソリ	ヤレシレン	

十四



ゆきなげ

ゆきなげ

作歌

石原和三郎

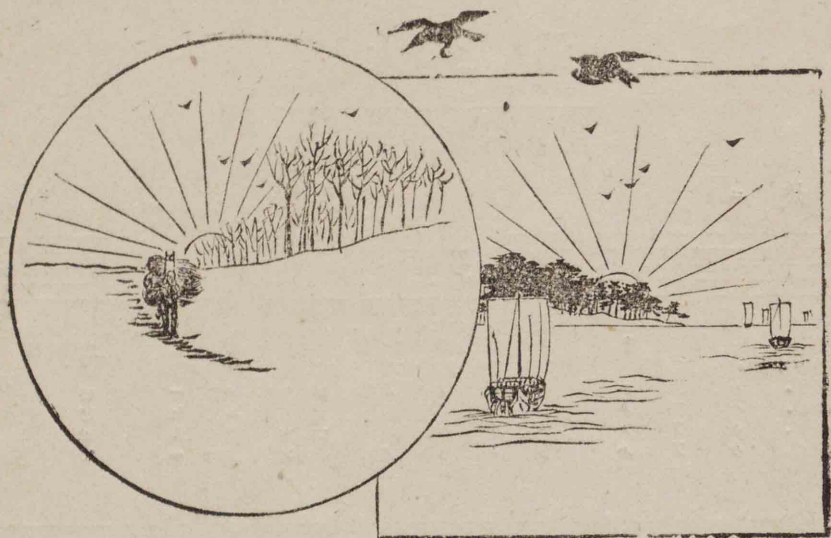
一、きえずにあれと、  
 たのしみし、  
 には白たへの、  
 しろゆきは、  
 ひるのやすみも、  
 けさのま、  
 いざゆきがっせん、  
 やれく。

二、東の大しよ、  
 たれなるか、  
 西の大しよ、  
 たれなるか、  
 しんぱんか、  
 先生よ、  
 やくわり、きまつた、  
 よしく。

三、てんでによいの、  
 ゆきつふて、  
 かためてもつや、  
 七つ八つ、  
 うちつ、うたれつ、  
 おひまはる、  
 どっちもまけるな、  
 それく。

四、てあたりしだいに、  
 かいつかみ、  
 めった、やたらに、  
 なげあうて、  
 にはに花ちる、  
 ゆきふがき、  
 をりからすが、  
 りんく。

十五



からす

作歌 田邊友三郎

一、あさ日あさひにいそぐ、あさがらす、  
 學校がっこうさして、いそぐのか。  
 さきになつのが、先生せんせいで、  
 あとから行くのは、生徒せいとらか。  
 二、ゆふ日ゆふひにかへる、ゆふがらす、  
 しごとをすまして、かへるのか。  
 さきになつのが、おや鳥おやどりで、  
 あとから行くのは、子こがらすか。

# 鳥

(へ調四拍子)

優美ニ 奧好義作曲

4/4

3 . 2 1 1 | 2 1 2 3 5 0 | 5 . 6 5 3 | 2 - . 0

1. ア サ ヒ ニ イ ソ グ ア サ ガ ラ ス  
 2. ユ フ ヒ ニ カ ヘ ル ユ フ ガ ラ ス

4/4

1 . 2 3 3 | 2 1 2 3 5 0 | 3 . 4 3 2 | 1 - . 0

ガ ツ コ ー サ ー シ ー テ イ ソ グ ノ カ  
 シ ゴ ト ナ ス ー マ ー シ テ カ ヘ ル ノ カ

3/8

5 - 3 5 | 6 . 5 3 3 | 2 2 1 . 2 | 3 - . 0

サ ー キ ニ タ ツ ノ ガ セ ン セ イ デ  
 サ ー キ ニ タ ツ ノ ガ オ ヤ ド ヲ デ

3/8

5 . 5 3 5 | 6 . 5 3 3 | 2 . 2 3 2 | 1 - . 0

ア ト カ ラ ユ ク ノ ハ セ イ ト ラ カ  
 ア ト カ ラ ユ ク ノ ハ コ ガ ラ ス カ



ふえとたいこ

一、けふは、うれしい、  
 みんなで、なかよく、  
 おたのび、あそぼうよ、  
 ふうふう、いいて、  
 ピー、ドン、  
 二、けふは、めでたい、  
 みんなで、なかよく、  
 おたのび、あそぼうよ、  
 ふうふう、いいて、  
 ピー、ドン、

三、けふは、めでたい、  
 みんなで、なかよく、  
 おまつり、あそぼうよ、  
 ふうふう、いいて、  
 ピー、ドン、  
 四、けふは、わたしの、  
 みんなで、なかよく、  
 おたのび、あそぼうよ、  
 ふうふう、いいて、  
 ピー、ドン、

十九

# 笛と太鼓

(へ調二拍子)

愉快  $\frac{2}{4}$  納所辨次郎 作曲

Musical score for '笛と太鼓' (Flute and Drum) in 2/4 time, composed by Natsuno Hanzaburo. The score consists of four systems of music with corresponding lyrics and fingerings.

System 1:  $\frac{2}{4}$  time signature. Lyrics: 一、けふは、うれしい、みんな、あそぼうよ、ふうふう、いいて、ピー、ドン、。 Fingerings: 5, 1, 1, 2, 3, 3, 2, 3, 5, 5, 3, 2, 0.

System 2: Lyrics: 二、けふは、めでたい、みんな、あそぼうよ、ふうふう、いいて、ピー、ドン、。 Fingerings: 3, 3, 5, 5, 3, 3, 1, 1, 2, 2, 2, 3, 1, 0.

System 3: Lyrics: 三、けふは、めでたい、みんな、あそぼうよ、おまつり、あそぼうよ、ふうふう、いいて、ピー、ドン、。 Fingerings: 5, 5, 6, 6, 5, 5, 3, 3, 2, 2, 1, 2, 3, 0.

System 4: Lyrics: 四、けふは、わたしの、みんな、あそぼうよ、おたのび、あそぼうよ、ふうふう、いいて、ピー、ドン、。 Fingerings: 5, 6, 3, 5, 2, 2, 3, 1, 0.

十八

# 牛若丸

(は調二拍子)

田村虎藏 作曲

勇マシク(軍歌体)

1. 2. 3. 4.   
 1. チカナカ   
 2. チタナガ   
 3. ハキツミ   
 4. ノーノ

5. 6. 5. 5. 6. 6. 5. 0   
 1. チヘドシユク   
 2. ハイイーグ   
 3. リケグノ   
 4. ノナチー

5. 6. 5. 5. 3. 3. 2. 3. 1. 0   
 1. ハゲアヨ   
 2. インヤン   
 3. ケジマツ   
 4. ニナルネ

5. 6. 5. 5. 6. 6. 5. 6. 5. 0   
 1. イガキナ   
 2. ズクチン   
 3. ニモシギ   
 4. ンガー

5. 6. 5. 5. 5. 5. 5. 5. 1. 0   
 1. オヒオヒ   
 2. トチヂ   
 3. ノメユヒ   
 4. レチクラ

## 牛若丸

作歌 石原和三郎

一、父は、をばりの、つゆこきえ、  
 母は平家に、とらへられ、  
 兄は、いづれ、ながされて、  
 おのれひとり、くらま山。

二、かたきの平家を、ほろぼして、  
 わが家源氏を、おこさんと、  
 ひるはがくもん、けんじゆつは、  
 人目をしのぶ、よるのわざ。

三、七つどりを、なげだして、  
 辨慶あやまる、五條橋、  
 金賣吉次が、おこもして、  
 おちゆく道は、おしゆ路。

うしわまる

四、鏡のしゆく、げんぶくに、  
 其名は義経、源九郎、  
 とちゆーのなんぎ、きりぬけて、  
 秀ひら、やかたに、つきにけり。

五、ほどなく、源氏の、花さくや、  
 兄よりこもの、めいをうけ、  
 あさひしよーぐん、義仲を、  
 たーうち、に、ほろぼして。

六、ひよどりごえの、坂をとし、  
 八島の海の、弓ながし、  
 だんの浦では、八そーとび、  
 ながく、ほまれを、のこしけり。

二十

明治卅四年十一月六日印刷  
 明治卅四年十一月九日發行  
 明治卅五年十月十五日再版發行  
 明治卅六年七月十日訂正三版印刷  
 明治卅六年七月十三日訂正三版發行  
 明治卅四年十月一日四版發行



(許不を寫謄び及譜譯)

正價金拾錢

東京市麹町區下六番町二十二番地

納所辨次郎

同市牛込區白銀町三十五番地

田村虎藏

同市京橋區銀座三丁目二番地

倉田繁太郎

同市京橋區銀座三丁目二番地

十字屋

同市神田區猿樂町一丁目五番地

積山之

同市京橋區元數寄屋町四丁目二番地

森田活版所

1400.7.17

部  
一〇六號

(東京木挽町二 原田寫真銅版印刷所印行)

広島大学図書  
0130449487  
